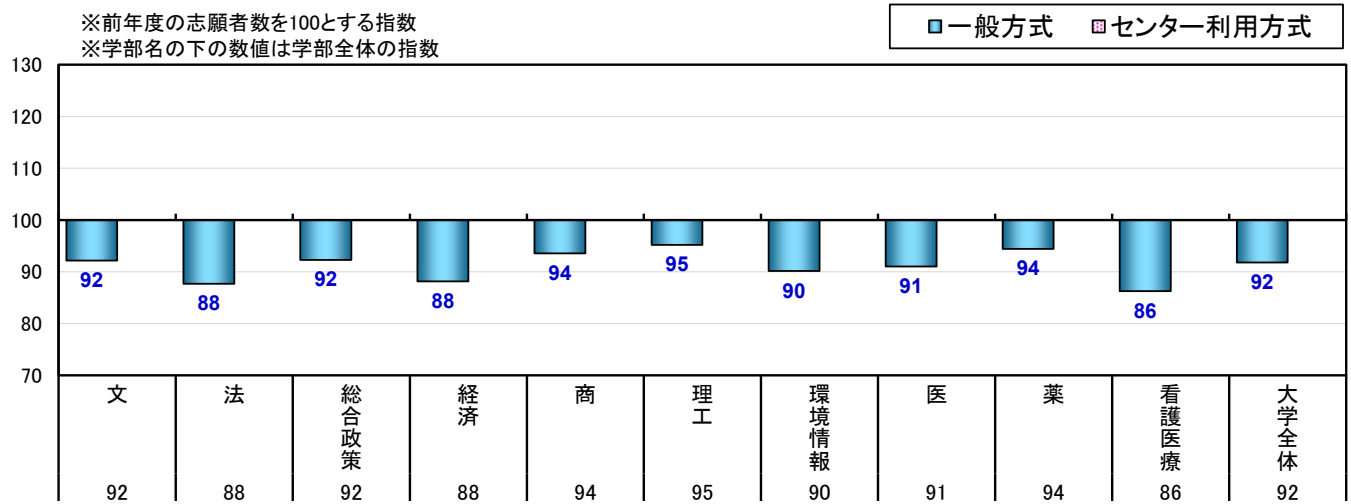


2020 年度入試状況分析【私立大】

慶應義塾大：大学全体では3年連続減少、学部別では全学部が減少

一般：-3,421人



入試変更点	募集単位：理工…学門1、学門2、学門3、学門4、学門5 →学門A(物理・電気・機械分野)、学門B(電気・情報分野)、 学門C(情報・数学・データサイエンス分野)、学門D(機械・システム分野)、 学門E(化学・生命分野)
	学科名称：理工…電子工→電気情報工 募集人員：医(医)…68人→66人

COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、3,421人(92)の減少で3年連続減少。最難関大を敬遠する傾向が影響。学部別でも全学部が減少。

＜一般方式＞

- 文(92)は、減少で3年連続減少。
- 法(88)は、減少で3年連続減少。学科別では、(政治)(103)がやや増加で4年ぶりに増加、(法律)(77)は大幅減少で3年連続減少。
- 総合政策(92)は、減少で3年連続減少。
- 経済(88)は、減少で4年連続減少。方式別では、＜A方式＞(88)、＜B方式＞(88)のいずれも減少。
- 商(94)は、やや減少で3年連続減少。方式別では、＜A方式＞(94)はやや減少で2年ぶりに減少。＜B方式＞(93)はやや減少で3年連続減少。
- 理工(95)は、やや減少で6年連続減少。学門別では、(学門E)(114)が(旧学門3)との比較で増加、(学門A)(84)が(旧学門1)との比較で大幅減少と増減が目立った。系統への人気が高い(学門C)(100)は(旧学門2)との比較で前年度並だが、募集人員が27%増加したことを考慮すると競争は緩和した。模試動向でも高い人気から出願時に敬遠傾向が見られたことが要因。
- 環境情報(90)は、2年ぶりに減少し、志願者数も3,000人を下回った。
- 医(91)は、難関大医学部医学科を敬遠する動きから、前年度微増から再び減少に転じた。
- 薬(94)は、やや減少。学科別では、薬剤師過剰への不安から6年制の(薬)(84)は6年連続減少。4年制の(薬科学)(121)は5年連続減少の反動から大幅増加。
- 看護医療(86)は、減少で4年連続減少。